

アーティスト イン ホスピタル 2014

Artist In Hospital 2014

2014

7/1 ~ 7/31

アーティスト募集!

2014年、病院に新しいアートのあり方を提案してくれるアーティストを学生の皆さんから募集します。約1ヵ月間、筑波大学附属病院全体をフィールドとしてアート活動をしてみませんか?皆さんの幅広い発想、おもしろい提案や、アートとケアの関係を一緒に考えてくれる表現者を待っています!

病院見学会
& 説明会

7月11日(金)

[病院見学会]

17:00 - 筑波大学病院入口
バス停前集合

[説明会]

18:30 - 体パチ



アーティスト募集！

筑波大学附属病院でアート活動を行うアーティストを学生の皆さんから募集します。選出されたアーティストは教員・学生スタッフ・附属病院スタッフなどと話し合いを重ね、様々な提案や可能性を共に考えながら、企画を作り上げていきます。過去の活動からは卒業後も社会で活躍するアーティストを輩出しています。

1. 北澤潤「病院の村」、2008年
2. 小野はるか「The Long Lunch」、2008年
3. 小中大地「ゴ布林博士の病院ゴ布林」、2009年

サポートスタッフ募集中！

運営のお手伝いをしてくれる人を募集しています。興味のある方はお問い合わせ先までご連絡ください。

説明会

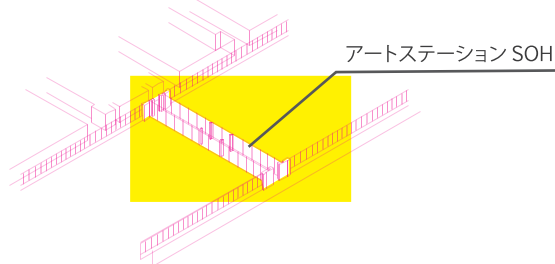
7月11日（金）18:30～体バチにて

応募資格

筑波大学学群生、院生（個人、またはグループ可）
※作品展示 / パフォーマンス / インスタレーション / ワークショップ等、ジャンルは問いません。

実施場所

アートステーション SOH（筑波大学附属病院1階渡り廊下）



広さ：奥行き27m / 幅3.3m / 高さ2.6m
設備：ピクチャーレール
カーテンレール カーテン（厚手、薄手）
天井のボルト、椅子24個（配置変更は相談可能）

サポート

- ・制作費一部補助（2008年例＝1人最大5万円）
 - ・学生スタッフがサポートします。
- ※webやポスターなどによる学内・病院及び地域への広報、搬入搬出、展示期間中のお手伝いなど、その他相談にのります。基本的にはアーティストの自主的な制作方法によって進めてもらいます。

主催：アーティスト・イン・ホスピタル2014プロジェクトチーム、筑波大学芸術系、筑波大学附属病院リニューアルチーム アスパラガス
協力：病院のartを育てる会議、筑波大学附属病院 後援：筑波大学芸術系社会貢献推進室、筑波メディカルセンター
助成：文化庁 平成26年度大学を活用した文化芸術支援推進事業

応募方法

① エントリー 7月1日（火）から

- ・まずは、下記メールアドレスに名前 / 専攻 / 学年 / 連絡先（電話番号・PCメールアドレス）をご連絡下さい。メール受付後、会場の詳細や注意点と、提出いただく企画書のフォーマットを送ります。
- ・エントリー希望者は7月11日（金）に行われる説明会にご参加下さい。また後日附属病院見学会も予定しています。

エントリー受付：14tkb.art.hospital@gmail.com

② 最終企画提出 7月31日（木）まで

- ・イメージ図、企画書、既存作品を再構成する場合その写真データ、ポートフォリオ等を提出してもらいます。これが選考の判断材料になります。
- ・選考は担当教員、学生スタッフ、病院スタッフがあたります。選考結果発表は8月上旬、滞在制作・プロジェクト実施は10～12月を予定しています。

選考員

齊藤泰嘉（芸術学専攻芸術支援コース教授）、貝島桃代（デザイン専攻建築デザイン准教授）、村上史明（構成専攻総合造形領域助教）、小野裕子（構成専攻総合造形領域助教）、茨城県つくば美術館学芸員、筑波大学附属病院スタッフ、渡辺のり子（筑波大学附属病院アートコーディネーター）、岩田祐佳梨（筑波メディカルセンター病院アートコーディネーター）、筑波大学附属病院リニューアルチーム アスパラガス